

# 特別支援教育

## 1. 目標

- ・みんなと仲良く生活する能力を伸ばすとともに自立的な生活ができる能力を育てる。
- ・温かい思いやりの心を養い、人権を大切にすることを育てる。

## 2. 努力点（なかよし学級）

- ①個々の児童に即した学習をし自信を持たせる。
  - ・カリキュラムを作成し記録に残す。
  - ・授業の工夫
  - ・教材・教具の整備充実
- ②かかわりの場を多く持つ。
  - ・交流学級・全学級を通して（交流会）
  - ・日常生活の中で（登下校・清掃・休憩時間・給食等）
  - ・各行事を通して（集会・遠足・運動会等）
- ③基本的な生活習慣を身につけさせる。
  - ・「なかよしタイム」を大切にする。
  - ・自分のことが言え、相手の気持ちをわかろうとする態度を育てる。
  - ・学校と家庭との連絡を密にする。
- ④なかよし学級を学校ぐるみでささえる。
  - ・なかよし学級の子ども達の現状を現教等の場を通して知らせていく。
  - ・学期に1回、学級指導を行い、全児童への啓発にとりくむ
  - ・子どもをよく知るために、全職員で交流する。
- ⑤特別支援教育の意義を保護者に正しく理解してもらう。
  - ・学級懇談を通して
  - ・各行事を通して（開級に向けて、運動会等）

## 3. 通常学級での特別支援教育

- ①特別な支援の必要な子どもに早期に気づく……特別支援教育用カルテ作成
- ②特別な支援の必要な子どもの実態把握を行い、担任の指導への支援方策の具体化に努める  
子どもの様子（生活指導部）……特別支援教育用カルテに基づく記録
- ③特別な支援の必要な子どもへの指導と保護者との連携について、全教職員の共通理解と、そのための校内研修の計画と推進をはかる。
- ④障害の有無や、種別について専門家チームの判断を求めるかどうかの検討をする。

## 4. 年間指導計画

月	内 容	月	内 容
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入級児童を確認、担任決定</li> <li>・時間割作成、交流教科・交流時間の決定</li> <li>・開級式</li> <li>・児童・保護者への啓発</li> </ul>	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級指導（本）</li> </ul>
		11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楠見三校交流会</li> <li>・入級児の決定、家庭訪問</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭訪問</li> <li>・交流学級担任、なかよし学級担任、専科交流会</li> <li>・楠見三校交流会</li> </ul>	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二学期の反省</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級指導（本）</li> <li>・特別支援教育用カルテ作成</li> </ul>	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級指導</li> <li>・入級児・対象児の保護者との懇談</li> <li>・来年度特別支援教育編成案作成</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一学期の反省</li> </ul>	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年間の反省と課題</li> <li>・来年度の交流教科について、交流学級担任となかよし学級担任で話し合う</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WISC-Ⅲの実施</li> </ul>		
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会に向けての指導（全校一斉）</li> <li>・入級に向けての話し合い</li> <li>・WISC-Ⅲの実施</li> </ul>	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度教育計画の検討</li> </ul>

各学年及び全職員との交流      1学期…1、3学年、全職員      2学期…2、4、5、6学年      全職員